

令和元年度第2回図書館協議会

日時 令和元年10月10日(木)10時から 図書館多目的室

出席 委員 浅田委員、大隅委員、清水委員、中川委員、
不破委員、山田委員、谷口委員、平元委員、
今関委員、岸本委員、福井委員

事務局 田代教育長、旭教育部長、細谷教育部次長、松本館長、
西村副館長、佐藤参事、天谷主査

会議録

1 開会

2 あいさつ

【教育長】本日はご多忙の中、出席いただきありがとうございます。開館からはや1年。図書館のコンセプトを維持し、引き続き充実した運営を続けてもらいたい。新たな課題について、9月議会で議員さんから質問が出ている。委員の皆さまから忌憚のない意見を賜りたい。

【会長】県内でいろいろな図書館利用者の勉強会がある。来月はテーマが「守山の図書館」。様々な意味で県内外から注目を集めている。プラスの面、マイナスの面があるが、職員が苦勞しながら試行錯誤している。滋賀、日本の図書館を考えていくうえで大切なこと。協議会は市民・利用者の立場から図書館の取り組みをきちんと確認していく。協議会の役割は非常に大切なこと。守山の図書館がよい方向に進んでいけるよう力添えを賜りたい。

【会長】 (1) 9月市議会定例会図書館関係質疑の概要について事務局より報告をお願いします。

【事務局】 資料に沿って説明

【委員】司書体制は十分か。うまく運営できているか。

【事務局】体制が手薄になる時間帯があり、サービスが十分に行き届いているとは言えない。

【委員】職員1人当たりの仕事量かなり増えているのではないか。2階で本を探しても職員の姿が見えないとの声もある。充実について検討してもらいたい。

【会長】(2) 令和元年度上半期の活動状況および利用状況①と②について事務局より説明をお願いします。

【事務局】 資料に沿って説明

【委員】中高生のマナーは公共施設全体の問題。良い方向に工夫してもらっていると聞いてよかった。

【委員】夏休みに学習コーナーを利用することがあった。言われているほどマナーが悪くなく安心した。中高生だけでなく大学生、社会人も利用があり、さまざまなニーズがあることがわかった。ふるさと納税の貸出カード・読書通帳について、上半期で7件というのは多い件数なのか、もっと皆に愛されるような特典を考えてはどうか。

【事務局】県内の他自治体では1年で19件と聞いている。守山は近隣3市と既に提携しているので、生活圏にある方が前提なのではないか。年末までに10件を目指したい。大津市の方などから問い合わせがあればご紹介している。

【委員】夏休みに来館したが、静かに学習している姿や、にぎやかに本を選んでいる子どもたちなどがいて、良い雰囲気だった。木のかおりもよい。職員の見えない苦労を考えると、運営体制の充実を考えてほしい。休館日が月曜日になったので近隣の図書館がすべて閉まっている日があった。何日かそのような日が出てくるのではないか？

【委員】(守山は祝日の月曜は開館しているため) 祝日の翌日がネック。

【委員】中高生のマナーは一定落ち着いたのか。

【事務局】開館よりは落ち着いた。

【委員】学習コーナーで荷物の置き方が気になるなら、区画を示すなどの工夫が必要。スマホについてはフリーWi-Fiがあるので、学習に必要な利用はしないよう啓発する必要があるのではないか。

【委員】スマホ利用は多いのか。

【事務局】連絡に使っている人もいるが、明らかにゲームしている人もいる。ゲームの人は注意している。スマホで映像授業を見ている人もいる。カバンは足の下に入れてもらうよう言っている。お菓子を食べている人に注意した職員が暴言をはかれるということもあった。

【委員】複数の職員で対応する、場所を変えるなどの工夫が必要。

【委員】書架がガラガラという声を聞き、悲しい思いをした。見た目で判断されている。貸出に出ている冊数が多いのでは。

【事務局】児童書については、昨年度末に6,200冊購入し夏休みに配架した。空きが目立つ書架を埋めるよう書架配分の変更を予定している。

【委員】毎日おはなし会を開催しており、すごくよい雰囲気。子どもたちはタイトルだけではなく、表紙を見て選ぶ。棚が広くなったので、非常に良い。連山昴太さんの書展、たくさんの来場があり好評だった。

北部の住民は図書館を利用しにくいという声を聞いている。速野会館にも本を置いて

親子に貸出している。どういう方向になるのか気になっている。

【委員】多目的室で講座を聞く機会の方が多い。非常に気に入っている。本の森が休館日でもさまざまな講座がある。

【委員】一番気になるのは、開館前の学習コーナー利用のため行列ができること。当初よりは落ち着いてきたと思うが、どうにかできないか。若い読者が育つように試行錯誤している。開館からまだ時間が経っていないので検証が必要。

ティーンズコーナーは、本当に活き活きと利用されているのか。学習席に座れない人が勉強している。ティーンズコーナーでティーンズが本を読んだり、語らったりする姿が見られない。

ふだん本を読まない子どもはパソコンで検索して大人のコーナーに行ってしまう。図書館のよさは現物を見て選ぶということ。スマホで検索するだけでなく、本と出会わせてあげたい。学習席を利用するだけでなく本も見たい。2階で職員に聞きたいとき困ってしまう。司書が遠く感じる。相談するのは1階の登録カウンターか？

【事務局】貸出と登録カウンターならお聞きできる。返却は集中しないとミスしてしまうので問合せはお聞きしていない（貸出カウンターやサブでついている職員でお聞きするようにしている）。2階は、職員がいる時間帯を増やしている。

【委員】職員は忙しいと思うが、市民からどう見えているか心配。司書の人数が問題。注目されている図書館なので、守山の自慢できる場所にふさわしい体制を教育委員会全体で考えてほしい。

【事務局】職員体制は課題として認識している。

4 協議事項

【会長】 令和元年度下半期の活動予定について説明をお願いします。

【事務局】 資料に沿って説明

【会長】 令和元年度活動計画の進捗について説明をお願いします。

【事務局】 資料に沿って説明

【委員】駐車場について、土日は満車なので、道路の反対側の総合病院無料駐車場に行く。図書館に向かう時に信号も横断歩道もないので、交通安全上心配。開館前の行列は、平日でも並んでいる。土日は50から100人に及ぶ。社会人と学生の学習コーナーの使い分けはできていると思う。一般読書席については、職員が定期的に館内放送を入れたり、学習目的で利用している人を注意したりして対応している。しかし学生が学習席に座れずやってくる。一般の人が座れない状況生まれる。職員が注意しに回ってくる。職員はたいへん。でも言わないとすみわけは定着しない。

自動貸出機の利用はどの程度か。また、防犯ゲートを設置したことにより、無断持ち

出しはなくなったのか。

2階のサインについて、目立つように色を付けるなど工夫してほしい。

【事務局】自動貸出機の割合は、資料2の18頁をご覧ください。約43%が自動貸出機での貸出となっている。予約図書を受け渡しは有人カウンターのみで行っている。現状では、自動貸出機がないと貸出処理やレファレンスができない状態。職員に聞きたい方にしっかり対応できるように必要なものと認識している。利用率は高い割合だと思うが、図書館のスタンスとしてできるだけレファレンスに力を注いでいきたい。ゲートについては、ほとんどが職員の処理ミスや、自動貸出機でのエラー。ゲートがあることによって抑止力になっていると思う。

【会長】ほかにご質問ご意見はないか。

【委員】絵本コーナーの「あ」行などのサイン、裏側にも表示をしてもらいたい。

【委員】『ほたるぶくろ』（児童コーナーの館報）は再開してほしい。司書の顔が見えない、遊び心がない。とてもいいコーナーだったのでぜひご検討いただきたい。

【事務局】ほたるぶくろの再開は課題。ぜひ実現したい。

【委員】年報『草蜚』、判が大きくなってから詳しすぎて読みにくい。

【委員】同意見。市民にアピールできるようなものにしてほしい。がんばっていることが視覚的に理解できるように。自分たちの仕事を伝えるための努力・工夫が必要。いましている仕事を活用して手間をかけずに情報発信していくとよい。

【会長】 次回もぜひご出席をお願いします。それでは進行を事務局に戻します。

【事務局】 本日はありがとうございました。

閉会。